

「ゼロカーボンシティ実現に向けた共創推進に関する連携協定」

の締結について

1 理由

本区では、区有施設及び区域内の二酸化炭素排出量の約7割が電力に起因します。こうした状況を踏まえ、国が示す2030年度に2013年度比46%の削減及び2050年までのゼロカーボンシティの実現に向け、電力の脱炭素化等を効果的かつ継続的に推進していくため、東京電力パワーグリッド株式会社 銀座支社と連携協定を締結するものです。

2 協定の内容

(1) 協定先

東京電力パワーグリッド株式会社 銀座支社
港区芝公園2-2-4
銀座支社長 光田 毅

(2) 連携事項

ア 省エネ推進に向けた取組
イ 再生可能エネルギーの地産地消、面的利用等の推進
ウ 電化その他の脱炭素化に向けたエネルギーへの転換
エ レジリエンスの強化
オ 「中央区の森」その他の森林の持つ多様な機能の維持・向上

(3) 協定締結日

令和4年6月3日（金）

(4) 協定期間

協定締結日から5年間（終了の申出がない場合は自動更新）

(5) 協定書

別紙2のとおり

3 具体的施策

連携事項	施策（案）
省エネ推進	建物改修計画に合わせた区有施設のZEB化
再エネの導入・利活用	地域間連携による調達
電化等のエネルギー転換	電気自動車(EV)等の導入促進
レジリエンスの強化	区有施設への蓄電池の導入
森林保全	カーボン・オフセット

4 その他

東京電力パワーグリッド株式会社との協定締結は、自治体で7例目（23区初）

※令和4年6月3日時点